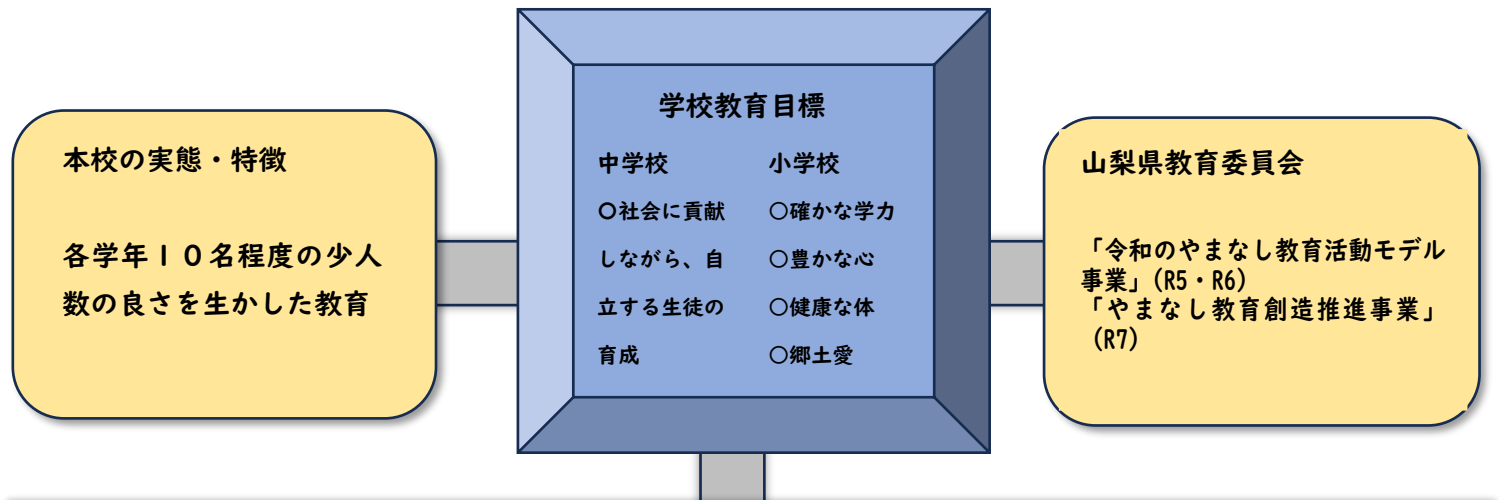
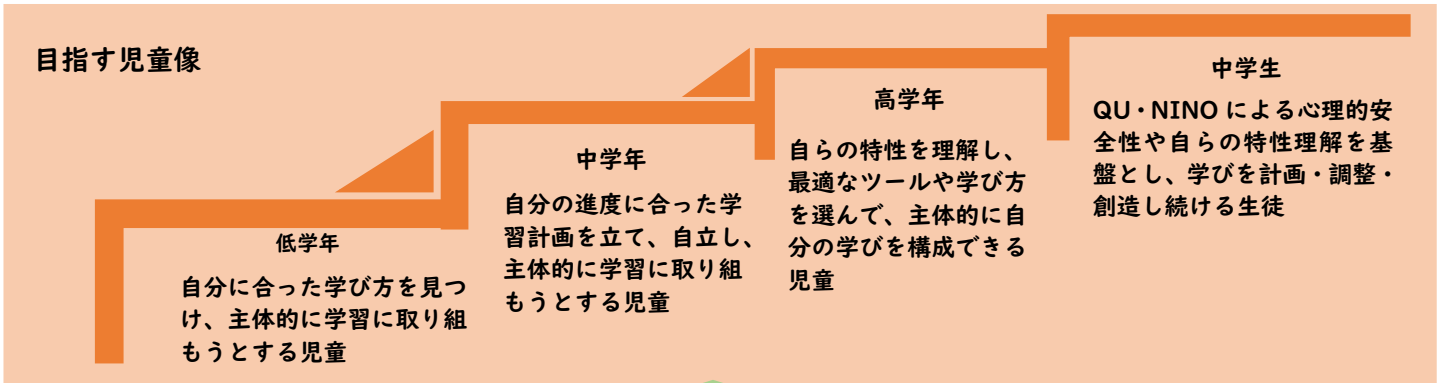


研究構想図（案）

R8. 道志村立道志小中学校



研究主題 個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する児童生徒を育成する
～ ICT を活用し、児童生徒が自ら学びを生み出す授業づくり ～
～ 組織で QU・NINO を活用した安定した学級づくり ～



研究仮説

協働学習の基盤となる安定した学級集団づくりを通して、全教科の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図れば、主体的に学習する児童生徒を育成できるであろう。

研究主題に迫るための手立て

手立て1

個別最適な学びと協働的な学びの手立て

- 児童に寄り添う課題や問いの設定
- 問題意識をもたせ学習意欲を引き出す課題や発問の工夫
- 視覚的な効果による学習意欲の喚起と基礎学力の定着・ICT活用
- 学習方法の選択
- 学習キャリアパスポートの活用

手立て2

標準化検査の活用

- QUの活用と組織的対応
- NINOと座席表の活用
- NRTの実施

手立て3

小中連携に関わって

- 9年間を見通した総合的な学習の時間「ふるさと学習」
- 小中合同校内研による教職員のスキルアップ